

日本代協 ニュース

INDEPENDENT INSURANCE

AGENT OF JAPAN INC.

<発行者> 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長 岡部繁樹 東京都千代田区有楽町 1-12-1-321 TEL 03(3201)2745
日本代協ホームページ(URL) <http://www.nihondaikyo.or.jp>

平成 28 度 第 5 回理事会(10/14 開催) ~日本代協イメージキャラクター提案など~

10 月 14 日(金)に第 5 回日本代協理事会が開催され、下記事項が報告・審議されました。概要は次の通りです。理事会に先立ち、岡部会長より、次の内容の挨拶がありました。

□9 月 5 日(月)地震保険制度創設 50 周年記念フォーラムが開催された。その中で大変ショッキングなデータを見た。地震保険の未加入者のうち、8 割の人が地震保険制度を知らないというデータがあった。もっと精力的にあの手この手で周知活動を展開しないとイケない。

□業界の動きとしては異業種からの参入が気になる。ニトリの店頭には保険コーナーが設置されたが、同社の狙いは、保険を通じて、消費者の家庭に行き、家具、カーテン等の買い替えなど本業につなげたいということにある。生保を通して、本業の成長に結び付けたいという考えである。

□また、損保各社においても、ノウハウを求める大型買収や自動ブレーキ搭載車の保険料割引など動きが急になってきており、業界展望を踏まえた各社の動向を注視し、情報収集をしていかなければならないと考えている。

【主な報告事項】

1. 日本代協ニュース新年号用座談会開催報告

❖10/21(金) 14:00~17:00 日本代協会議室において、日本代協アドバイザー 3 名(栗山 ADV、中崎 ADV、山本 ADV)による座談会を実施する予定である。(実施済)

❖日本代協ニュースの 1 月号特別企画として掲載予定。

2. 業法改正対応に関する最新情報

❖金融庁調査(ヒアリング)が年内に実施される見込みである。消費者保護の観点から金融庁がどういう見方をするのか分かる。実施目的は、代理店の保険募集に関する体制整備の実施状況や事業報告書の準備状況などを確認することにある。実態把握のほかに優れた対応、取組事例が見つかれば、これを公表(代理店名は非公表の予定)して広く代理店の参考に供するとともに、水準・レベル感合せの効果を期待するものとなる。

◆実施主体: 財務局 監督局保険課および検査局検査官が同席予定。(基本的にはヒアリングを企画する保険課が主導し、財務局が OJT を受けるイメージと思われる)

◆実施方法: 代理店を臨店してヒアリングする。事前に日程連絡もあり、事前アンケートが行われ、その回答をベースに行われる。

◆対象代理店: 全体で 90 数代理店。

【主な決議事項】

1. 日本代協イメージキャラクターのデザイン

❖日本代協イメージキャラクター(フクロウ=森の賢者「ふうた」)について、キャラクター取扱規則の制定、展開スケジュール、シンボルマーク取扱規則の修正について提案があった。

❖11 月 4 日の日本代協コンベンションの会場で対外リリースする予定である。(のぼり、記者会見パネルも作成する。名刺添付用のシールも試作する。)

2. 事業計画進捗状況

❖受講勧奨方針に基づくコンサルティングコース受講者目標数を 840 名とし、ブロックごとの目標数が決定された。代協ごとの目標数は各ブロックの協議で確定させ、早期達成へ向け、取り組む。

<コンサルティングコース受講者募集/申込期間>
平成 28 年 12 月 1 日~平成 29 年 2 月 17 日

❖日本代協独自の教育プログラムの第一弾として「コミュニケーション力向上研修」を施行として実施する。(11 月 29 日(火) 10:00~17:00(損保会館))受講者は東京代協会員中心に募集。それ以外の参加は各教育委員より参加希望を確認し先着順とする。

3. 代協会員向け WEB 監査サービスの導入

❖体制整備で求められている代理店内部監査は、当面は自主点検でもいいこととなつてはいるが、身の丈に合ったステージアップの仕組みとして、併せて代理店経営支援のサービスの一環として、アドバイザーの日本創倫株式会社と連携し、「代理店 WEB 監査サービス」の仕組みを開発してもらった。約 100 項目(損保共通は 56 項目)に関し、その確認書類等(証跡)を撮影し、監査シートとともにサーバーへ送信する監査形式である。日本創倫が監査結果と助言を記入した監査報告書と評価書を作成し、返送する。募集人数が 20 名以下の代理店向けの仕組みである。近日中に正式に案内を行なう。

4. 第 36 次 P I A S (再開) 方向性

❖平成 28 年度の派遣を見送った P I A S (代理店米国研修)について、次年度再開を目指して、受け入れ先・

第 293 号 ～ 現状維持は後退と同じである ～

研修カリキュラム等詳細を 12 月理事会に提案する予定。
現状確定している内容は次のとおり。

【報告内容】

- ❖ 日程：平成 29 年 6 月 2 日～6 月 9 日の 6 泊 8 日
(従来の 7 泊 9 日から 1 日短縮)
- ❖ 訪問先：サンフランシスコのみ、受け入れ先は C P C U サンフランシスコ支部 (IEA から変更)
- ❖ 受け入れ責任者：元 IEA 教育部長 Dave David 氏、最少催行人数は 16 名、目標 20 名。
- ❖ 研修費用：従来の金額 (298 千円+研修費用 900 ドル) と同水準を予定。

**『代理店賠償・日本代協新プラン』手続き終了
～10/1 契約日現在＝速報：加入率 83.3%～**

「代理店賠償・日本代協新プラン」の募集は 9 月末で終了しました。皆様のご協力のおかげで、件数、保険料とも大幅に増加し、加入率・継続率も含め、過去最高値の指標を達成することができました。更改内容について下記の通りご報告いたします。今後も本プランを「代理店経営のプロテクター」として、有効に活用していきましょう。

本年度も、毎月 20 日申込締切、翌月 1 日を始期(終期:平成 29 年 10 月 1 日)とする中途加入が出来ますので、ご活用ください。(ただし、平成 29 年 7 月 1 日が最終加入日となります)

- <保険 名称> 専門業務事業者賠償責任保険
- <引受 会社> Chubb(チャブ)損害保険株式会社
- (10月1日よりエース損害保険会社から社名変更)**
- <保険期間> H28 年 10 月 1 日～H29 年 10 月 1 日
- <代協・正会員> 9,975 店(継続 9,567 店・新規 408 店)
- 継続率 96.7% 加入率 83.3%

**全国一斉「国民年金基金加入推進C/P」
～10月1日から11月30日2ヶ月間:目標120件～**

日本代協が設立した「全国損害保険代理業国民年金基金」の加入推進を図るため、10月1日より『国民年金加入推進キャンペーン』を全国一斉に展開中です。

《全国一斉「国民年金基金加入推進キャンペーン」内容》

- ◆ 期間:平成 28 年 10 月 1 日～11 月 30 日
- ◆ カウント:平成 28 年 4 月～9 月までの加入受付分含む
<国民年金基金のメリット>
- ◆ 加入した時から、給付も確定、掛金も確定で安心です。
- ◆ 掛金は全額所得控除の対象となり、所得税・住民税が軽減されます。※代協会員以外の方も加入できます

**<平成 28 度>
第 6 回 コンベンション実施要領決定！！**

■式典・懇親会：平成 28 年 11 月 4 日(金)13:00～

平成 28(2016) 年 10 月 26 日

❖ 場所:東京(グランドニッコー東京台場 (ホテル名称変更、昨年度と同じホテル (前年度名称＝パンパシフィック LE DAIBA) での開催。

- ❖ テーマ:「消費者から見た代理店のあり方を考える」
- ❖ 基調講演講師:タイトル「旅する視点で見るサービスの本質」～おまけや値引きはサービスではない～
- ❖ 講師:高萩 徳宗氏 (有限会社ベルテンポ・トラベル・アンドコンサルタンツ 代表取締役)

■分科会：11月5日(土) 10:00～12:00

❖ 場所:4ヶ所での分散開催＝損保会館5階会議室・(神田淡路町)ホテル聚楽2階・ホテルマイステイズ御茶ノ水2階・三井住友海上駿河台新館ビル3階

< 4 分科会の内容 >

【坂東 ゼミ】

(会場：お茶の水ホテルジュラク 2 階孔雀)

- ❖ テーマ:「お客さまのニーズに向き合った損害保険契約と代理店の役割」～そんぽADRでの紛争解決事案から学ぶお客さまの意向把握～
- ❖ 講師:京都産業大学大学院法務研究科 坂東俊矢教授

【栗山 ゼミ】

(会場：ホテルマイステイズ御茶ノ水 2 階 A・B ホール)

- ❖ テーマ:「InsurTechの時代に、保険の原点を考える」
- ❖ 講師:日本代協アドバイザー・丸紅セーフネット株式会社 常勤監査役 栗山泰史様

【中崎 ゼミ】

(会場：損保会館502-503号室)

- ❖ テーマ:「市場激変と保険代理店の近未来」～「人のネットワーク」産業の活路・方向性と当面の課題～
- ❖ 講師:日本代協アドバイザー・有限会社ナカザキ・アンド・カンパニー保険ジャーナリスト 中崎章夫様

【山中 ゼミ】

(会場：三井住友海上駿河台新館ビル3階 A・B・C)

- ❖ テーマ:「確実にお客さま満足度が高まる公的保険アプローチとは」
～売上げと満足度の向上を両立させる新たな切り口～
- ❖ 講師:一般社団法人公的保険アドバイザー協会理事 山中伸枝様

～トータルプランナーに移行した募集人の方へご案内～

損保トータルプランナーの更新をお忘れなく！

❖ 3・6・9・12期の旧認定保険代理士から損害保険トータルプランナーに移行した募集人(2,473名)は、平成 28 年 12 月末日に有効期限が到来しますので更新手続きが必要です。認定を更新するためには、コンサルティングコース更新試験(試験方式:IBT 試験)の受験・合格が必要です。早めの受験をお願いします。
